



がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標 「こころゆたかに ゆめをはぐくむ」

ひと ちから
人にやさしく 力をあわせ チャレンジする

みなみ こ
南っ子 だより

くさつしりつしづみなみしょうがっこう がっこうたよ
草津市立志津南小学校 学校便り NO.8 令和3年11月1日

ちから はっき うんどうかい 力が発揮できた運動会！

10月23日(土)に2年ぶりに運動会を開催しました。コロナ禍による子どもたちの体力低下を懸念し、種目を減らして、低学年は表現運動、中学年はリレー、高学年は表現運動とリレーを行いました。保護者の皆様には、感染症対策として、お子様の出場されている時のみの参観にご協力いただきましてありがとうございました。子どもたちも自分の出番以外は、教室の中でリモートで応援していました。ところが、中盤当たりから、リモートの調子が良くなり、応援しづらくなってきたので、子どもたちも外で応援することになり、目の前で5年生、6年生の素晴らしい演技・一生懸命に競技をする姿を見ることができました。運動場にたくさんの声援が響きわたりました。

今回は、種目が少なく、午前中開催、保護者入れ替え制、リモート応援と異例づくしの運動会でしたが、「きよりは遠くても心は密で仲間を信じて エンジン全開」のスローガンのもと、全力で頑張る子どもたちの姿に胸が熱くなりました。特に6年生の表現運動では、体を組み合わせることができず「一人技」で表現しなくてはならないという制限がありました。しかし、子どもたちは、3週間の練習の中で、動きのタイミング、手の角度など、細かいところまで自分たちで演技を確認しながら、まさに「心をひとつに」集中した演技をするまでになりました。「みんなで一つのものをつくりあげる」経験は、心の宝物になり、これからの生活の中で活かされてくると思います。その演技を見た1～5年生にとっても「あんなふうになりたい」と良い目標ができた運動会でした。



応援団の選手宣誓とアピール



6年生の息の合った演技

